

政策	11 豊かな自然環境の保全						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民、職員						
施策が目指す姿	地域の貴重な財産である豊かな自然環境が次世代に引き継がれる。 地球環境にやさしい循環型社会の形成が図られる。 市民一人ひとりによる自発的な環境活動が展開される。						
成果指標	環境保全施策に対する市民満足度...5年間(H25～29)で65%へ増加(現状値60%) 環境保全に取り組んでいる市民の割合...5年間(H25～29)で100%達成						
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [%]	予定				65.00	
		実績				56.90	
	成果指標2 [%]	予定				100.00	
		実績				97.50	
	成果指標3 [%]	予定					
		実績					
	成果指標4 [%]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	2,205,196	1,851,108	1,788,267	2,051,365		
	実績	1,980,053	1,904,219	1,766,048	2,050,910		
内部評価	貢献度	豊かな自然環境の保全は市民の参加と協力が不可欠であり、市民参加割合の100%達成は大きく貢献すると考えられる。					
	達成状況	単位施策の達成状況が順調に推移しているため、目標達成が見込まれる。					
	課題	資源の循環型社会形成のために、市民や企業が積極的に取り組めるよう意識づくりが必要である。					
	取組方針	自然環境の保全は市民・企業の協力が必要であるため、市民・企業へ事業の更なる周知や啓発を実施し、目標達成を目指す。					
外部評価	達成率としては概ね良好であるが、環境の保全には市民の自発的行動がもっとも効果的であるため、ハンドブックの配付や水質検査の結果等を積極的に公表するなどの市民の環境に対する意識づけや、小中学校等での環境学習、老人会、PTA等での取り組みにつながる施策を検討すべきである。 また、市民への3R活動、美化運動や、企業等への過剰包装、レジ袋削減の働きかけなど、市民や企業等と連携を図ることで目標達成を期待する。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	1101	環境の保全				2,010,403	100
	1102	循環型社会の形成				4,678	100
	1103	新エネルギーの推進				35,829	100

平成28年度

基本 施策評価表 補表

施策	11 豊かな自然環境の保全		
区分	妥当性	妥当	豊かな自然環境の保全に対する評価妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業の集約等を実施することによりコスト削減の余地がある。
	受益者負担	適正	受益者負担はないため妥当である。
	上位貢献度	有効	事業を適正に実施することにより施策への貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	環境保全の類似事業はない。
	成果向上の余地	有	事業を適正に実施することを推進することにより成果は向上する。
内部評価	貢献度		
	達成状況	3Rポスターの募集や遊水地を中心とした自然環境学習、水辺の教室等の事業を継続して実施しており、学校や市民団体からの希望による出前講座も継続して実施していることから、市民からの認知も高まり一定数の参加を頂いている。	
	課題	豊かな自然環境を保全していくことは、栃木市で活動する市民、事業者のすべてに係ることから、市民・事業者・行政それぞれが環境保全意識を高く持って積極的に取り組むことが必要である。	
	取組方針	行政の各種イベントでの広報活動や、栃木県と連携した環境啓発を実施し、市民や事業者への意識づけを進めていく。	